



2020年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年1月31日

上場会社名 日進工具株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6157 URL <https://www.ns-tool.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 後藤 弘治
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 足立 有子 TEL 03-6423-1135
 四半期報告書提出予定日 2020年2月12日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	7,321	△8.2	1,827	△16.4	1,831	△16.5	1,226	△18.0
2019年3月期第3四半期	7,977	10.1	2,186	10.3	2,194	9.6	1,496	5.0

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 1,218百万円 (△18.2%) 2019年3月期第3四半期 1,490百万円 (4.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	98.12	97.71
2019年3月期第3四半期	119.71	119.55

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	15,497	14,176	90.7	1,123.92
2019年3月期	15,381	13,461	87.1	1,071.48

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 14,052百万円 2019年3月期 13,397百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	20.00	—	25.00	45.00
2020年3月期	—	20.00	—		
2020年3月期（予想）				25.00	45.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,590	△8.5	2,150	△25.3	2,160	△25.4	1,460	△25.9	116.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。詳細は、添付資料7ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期3Q	12,504,000株	2019年3月期	12,504,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期3Q	497株	2019年3月期	477株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期3Q	12,503,523株	2019年3月期3Q	12,503,602株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、米中貿易摩擦が激しさを増す中、海外経済の減速に伴う輸出の鈍化や世界的なIT需要の回復の遅れに加え、消費増税や台風の影響などもあり、景気の総括判断が下方修正されるなど弱含みの展開となりました。

当社グループ製品の主要需要先の状況といたしましては、自動車関連では消費増税前の駆け込み需要もあってか秋口までは順調に見えたものの、最終的には3年ぶりに新車販売台数が暦年で前年を下回ったほか、世界最大の市場である中国の新車販売も前年比8.2%減少したことから、特に中国向けの部品供給を行うメーカーへの影響がみられました。また電子部品・デバイス関連では、スマートフォンの出荷が引き続き減少傾向となるなか、搭載されるカメラの数が増えるなどプラス面もありましたが、全体としては弱い動きとなりました。このような環境のなか、工具需要は減少傾向となり、当社グループの第3四半期連結累計期間における業績も減収減益を余儀なくされました。

当社グループでは、「INTERMOLD (東京及び名古屋)」や「機械要素技術展(名古屋)」、ドイツで開催された「EMO」等の国内外の展示会に出展し、PCD(多結晶ダイヤモンド)やCBN(立方晶窒化ホウ素)を使用したエンドミルを中心に精密・微細加工に関する情報発信を積極的に行いました。製品面では、昨年より販売を開始した銅電極加工用ロングネックエンドミルのボールタイプ、スクエアタイプにラジアスタイプの「DHR237R」を追加し、銅電極加工用エンドミルシリーズとして2019年「超モノづくり部品大賞」奨励賞を受賞したほか、ステンレスの高効率加工を実現した「MSUSZ440」及びそのロングネックタイプ「MSUSZ440-LN」を発売する等ラインアップの充実にも努めました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は7,321百万円(前年同期比8.2%減)、営業利益は1,827百万円(同16.4%減)、経常利益は1,831百万円(同16.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,226百万円(同18.0%減)となりました。

製品区分別の売上高では、「エンドミル(6mm以下)」が5,612百万円(前年同期比5.9%減)、「エンドミル(6mm超)」が718百万円(同19.9%減)、「エンドミル(その他)」が484百万円(同7.5%減)、「その他」が507百万円(同14.1%減)となりました。

(注) 報告セグメントが1つでありますので、製品区分別に記載しております。なお「その他」の事業セグメントは、製品区分別の「その他」に含めております。

(2) 財政状態に関する説明

第3四半期連結会計期間末の財政状態は、前連結会計年度末と比較して総資産は116百万円増加し15,497百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益による利益剰余金の増加等によるものであります。

また、負債は前連結会計年度末と比較して598百万円減少し、1,321百万円となりました。これは主に、未払法人税等及び賞与引当金の減少等によるものであります。

純資産は前連結会計年度末と比較して、利益剰余金の増加などにより714百万円増加し14,176百万円となりました。なお、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は90.7%となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の業績予想につきましては、2019年10月31日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,209,551	5,350,260
受取手形及び売掛金	1,531,469	1,379,775
商品及び製品	1,270,745	1,353,043
仕掛品	318,832	208,151
原材料及び貯蔵品	466,463	601,250
その他	134,979	184,812
流動資産合計	9,932,041	9,077,294
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,344,102	2,881,551
機械装置及び運搬具(純額)	1,980,234	1,774,931
土地	669,233	692,528
建設仮勘定	529,426	151,680
その他(純額)	162,917	175,114
有形固定資産合計	4,685,914	5,675,807
無形固定資産	84,393	61,490
投資その他の資産		
投資有価証券	52,550	50,405
繰延税金資産	349,712	348,135
その他	276,796	284,747
投資その他の資産合計	679,059	683,287
固定資産合計	5,449,366	6,420,585
資産合計	15,381,408	15,497,880

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	277,580	228,486
未払法人税等	374,802	191,826
賞与引当金	282,094	113,958
役員賞与引当金	164,520	96,186
その他	544,843	436,117
流動負債合計	1,643,841	1,066,573
固定負債		
長期未払金	275,688	254,736
固定負債合計	275,688	254,736
負債合計	1,919,530	1,321,309
純資産の部		
株主資本		
資本金	442,900	442,900
資本剰余金	405,800	405,800
利益剰余金	12,552,577	13,216,800
自己株式	△813	△864
株主資本合計	13,400,463	14,064,635
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,781	3,281
為替換算調整勘定	△7,940	△15,021
その他の包括利益累計額合計	△3,158	△11,740
新株予約権	64,573	123,675
純資産合計	13,461,878	14,176,570
負債純資産合計	15,381,408	15,497,880

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	7,977,859	7,321,945
売上原価	3,442,169	3,292,925
売上総利益	4,535,689	4,029,019
販売費及び一般管理費	2,348,858	2,201,258
営業利益	2,186,831	1,827,761
営業外収益		
受取利息	30	26
受取配当金	830	1,119
作業くず売却益	12,750	9,612
その他	4,197	2,318
営業外収益合計	17,809	13,077
営業外費用		
為替差損	10,295	9,044
その他	39	15
営業外費用合計	10,335	9,060
経常利益	2,194,304	1,831,778
特別利益		
固定資産売却益	47	2,895
特別利益合計	47	2,895
特別損失		
固定資産売却損	193	48
固定資産除却損	13,237	286
特別損失合計	13,430	334
税金等調整前四半期純利益	2,180,921	1,834,339
法人税等	684,109	607,457
四半期純利益	1,496,812	1,226,882
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,496,812	1,226,882

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	1,496,812	1,226,882
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△535	△1,500
為替換算調整勘定	△6,210	△7,081
その他の包括利益合計	△6,745	△8,582
四半期包括利益	1,490,066	1,218,299
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,490,066	1,218,299
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当社及び一部の子会社について、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(表示方法の変更)

(四半期連結貸借対照表)

「長期未払金」(前連結会計年度 275,688千円)の表示方法は、従来、四半期連結貸借対照表上、「固定負債」の「その他」として表示しておりましたが、「その他」として表示するよりも、個別に表示する方が、表示上の明瞭性を高めるため、第1四半期連結会計期間から、「長期未払金」として表示しております。